

# 第3学年道徳学習指導案

1. 主 題 友だちを理解し、互いに信頼する 2-(3)友情・信頼  
資料名「韓国から友だちが来た」 (大阪書籍)

## 2. 主題設定の理由

### (1) 子どもの実態について

本学級の子どもたちは、休み時間を友だちと楽しく過ごし仲良くする姿が多く見られる。困っている人がいると助けたり、協力したりして係活動やそうじをすることができる。しかし、毎日の生活の中で自分の思いをうまく表現できなかつたり相手の思いを受け止めることができなかつたりして言い争いになり思わず大きなケンカになってしまうことがある。仲良くしていても相手がどんなことを思い考えているだろうかと気持ちを押し量ることが十分にできているとは言えない。

総合的な学習の時間に韓国と日本の文化を守り広く伝えようとしている人々に出会っている。その思いや願いを受け止め、さらに本資料でお互いが分かり合えるためにできることは何かを考えていこうという意欲と態度を育てたい。

### (2) ねらいとする価値について

「信頼」とは、日々の関わりの中で互いにいいところ・悪いところを分かり合って築いていくものである。子どもたちのコミュニケーション不足が言われているが、この信頼はコミュニケーションによって生まれるものである。本資料は、言葉によるコミュニケーションは難しいが、何か分かり合えないかと共に考え行動するものである。そこに「信頼」や「友情」が生まれていく。互いに相手を思いやる姿に気づき、信頼や友情の態度を育成する上で価値があると考えられる。

#### ○ 人とのかかわりから

本資料のように互いに分かり合うには、相手への思いやりが欠かせない。子どもたちは総合的な学習の時間に韓国や日本の言葉や楽器や食べ物に触れてきている。それらの文化を守り伝えようとする人々に出会い、その人々の思いや願いについて考えてきた。「一生懸命教えてくれた」その姿は自国の文化を愛し相手を大事にする思いやりの心から生じている事に気が付くことができた。そこに「信頼」が生まれ、クラスの集団であれば「友情」が芽生える。この時期の子どもたちに様々な人とかかわりを持たせることで、相手との違いやよさを十分理解し、思いやりをもって分かり合うことの大切さに気付かせたい。

#### ○ 小中連携から

中学校においても同じように新しい友だちに出会ったり、いろんな活動（職場体験など）で相手の立場に立って考えたり、思い合って行動することがある。活動の意味や周りのことをよく考え、自分はどうすべきかを判断できる素地を育成しておく上で意義深いと考える

### (3) 資料の活用について

本資料の指導にあたっては、学級の子どもたちに言葉によるコミュニケーションがとれなかった金くんやぼくが、互いに理解し合おうと頑張る姿やその行動の積み重ねで仲間意識が芽生え、やがて信頼、友情へと育っていったことを丁寧に考えさせていきたい。これまでに子ども達は、総合学習でのチャンゴの○さんや和だいの◇◇さんその他多くの方々のお話を聞いたり一緒に体験したりして、人と人が分かり合うこと、互いを知ること、相手のことを考えることなどそれぞれの方々からの思いや願いを伝えてもらいそれを感じとってきている。それらを受け止めた後、本資料「韓国から友だち来た」で金くんやぼくの言動や、いつのまにか韓国語を一生懸命覚えようとしていたぼくの気持ちを、自分たちのこれまでの活動と結びつけながら考えさせていくことは、互いの違いやよさを認めながら相互理解を図っていった姿と重ね合わせることができるであろう。金くんやぼくのことを自らの問題としてとらえて、仲良くなる心について考えさせていきたい。

### (4) 人とかかわりをつなぐ総合単元 構成図Ⅰ P.74参照のこと

**(4) 主題と人とのかかわりをつなぐ総合単元**

教科・総合的な学習の時間	道徳の時間	特別活動・行事等
<p>「三年とうげ」(国語)</p> <p>「アニョハセヨ ハング」(総合)</p> <p>1. 韓国への興味・関心をもつ。            (1) 韓国について知っていることを出し合う。            ・地理・言葉・食べ物・衣服など</p> <p>(2) 韓国と日本の食べ物にふれ、学習課題をつくる。</p> <p>学習課題            韓国と日本の文化のよさやちがいをさぐる</p> <p>2. 韓国にはどんな文化があるのか調べ、調べたことを出し合い、体験する内容を決める。</p> <p>3. 日本と韓国の文化について、GTの話の聞いたり、体験したりする。            (1) 言葉・礼儀・衣装など            (2) 伝統的な楽器・和太鼓など</p> <p>4. GTの話や体験の中から、追究したい課題を決め、課題別に調べる            (1) 調べる内容や方法に従って、各自調べ学習に取り組む。            (2) GTに話を聞いたり、一緒に体験する。</p> <p>5. 課題別それぞれの文化のよさを出し合う。</p> <p>6. GTの方々の思いや願いについて考えをまとめる。</p> <p>7. GTへ自分たちの思いを伝える。</p> <p>8. これからの韓国初等学校との交流について考え、行動する。</p>	<p>自分の国を大切にする心  <b>4-(6) 愛国心</b>            「のりのおにぎり」</p> <p>友だちを理解し、互いに信頼する  <b>2-(3) 友情・信頼</b>            「韓国から友だちが来た」</p> <p>(本時)</p> <p>韓国から来る友だちへの思いやり  <b>2-(2) 思いやり・親切</b>            「日本の小学校へ交流にいて」</p>	<p>昨年度の韓国の初等学校            歓迎式(裁量)</p> <p>今年度の韓国初等学校            訪問団報告会(裁量)</p>

### 3. ねらい

- 友だちどうし互いによく理解し、信頼し合おうとする態度を育てる。

### 4. 準備

(教師) これまでの総合学習でのGTとの出会いや活動の様子、思いや願いを記入した掲示物挿絵(本資料)

(子ども) ぼくの気持ちを書く吹き出しの学習プリント

### 5. 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点
導入	<p>1. これまでの総合学習での体験を想起し、本時のめあてを知る。</p> <p>(1) 総合学習での体験(GTとの出会いや願い、思い)を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の国のことを知ってもらいたい</li> <li>・お互いを知るとなかよくなれる。</li> <li>・お互いを大事にして欲しい。</li> </ul> <p>(2) 本時のめあてを知る。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">友だちとなかよくなる心について考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合学習での体験を想起させる掲示物を提示しておく。</li> <li>○ 子ども達が総合学習で出会ったGTの先生との関わりの中で、学んだこと、思いや願いを想起させる。</li> </ul>
展開 前段	<p>2. 資料を読み、金くんの気持ち、ぼくの気持ちを考え、発表する。</p> <p>(1) 資料を読む。(全文)</p> <p>(2) 金くんの気持ちを考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくのこと、分かってくれるかなあ。</li> <li>・日本語しゃべれないよ。どうしよう。</li> <li>・友だちになれるかなあ。</li> </ul> <p>(3) ぼくの気持ちを考え、学習プリントに書いて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のことを教えてあげよう。</li> <li>・日本語を教えてあげよう。</li> <li>・友だちになりたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 韓国からではなくても、転入生に初めてクラスに来たときの気持ちなどを想起させ挿絵の金さんの表情に注目させる。</li> <li>○ 先生の言葉や学級での話し合いの内容を押さえてぼくの気持ちにより近づく事ができるよう吹き出しに書かせる。</li> </ul>
展開 後段	<p>3. 仲よくなり始めた頃の金くんの様子とぼく気持ちの変化を考え、発表する。</p> <p>(1) 金くんが楽しそうにしている様子を見てのぼくの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金くん、日本語が上手になったな。</li> <li>・いっぱい遊べて友だちになれて、うれしい。</li> </ul> <p>(2) いつの間にか韓国語を教えてもらおうと一生懸命になっているぼくの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金くんに教えようと思ってばかりだったけどぼくも教えてもらったのしいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仲よくなり始めた頃の金くんとぼくの気持ちにより近づけるように挿絵の金くんの表情と様子を本文から探し、押さえた後、ぼくの気持ちを吹き出しに書かせる。</li> <li>○ もう一度、金くんが来たときのぼくの気持ちを振り返り、お互いに教え教えられることが楽しいことにつながっていることを押さえた後、ぼくの気持ちの変化を考えさせる。</li> </ul>
終末	<p>4. 今日の学習にまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なかよくなる心とは、お互いのことを知って、分かり合うことなんだ。</li> <li>・GTの〇〇さんと私たちと同じ(心が通じ合うこと)だね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ めあてのなかよしの心とつなげて考えさせる。GTとの出会いからGTとの関わりを通して分かり合えた時の気持ちも想起させる。</li> </ul>

